

研究課題名	定位放射線治療による早期肺癌治療における症候性放射線肺臓炎の危険因子の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	放射線科 篠村 一磨
研究期間	(西暦) 2024年 6月 ~ (西暦) 2025年 3月
研究の意義・目的	肺癌は日本における悪性腫瘍全体の死因の第1位であり、罹患数は年々増加している。近年、早期肺癌に対し定位放射線治療が用いられる機会が増えている。放射線性肺臓炎は早期肺癌の定位放射線治療の有害事象の一つとして知られている。多くの場合症状は無症状または軽症だが、1割程度の割合で重症になると報告されている。本研究は放射線肺臓炎発現の危険因子について検討する。
研究の方法 (対象期間含む)	西暦2014年6月1日から西暦2022年12月31日までに武蔵野赤十字病院放射線科で肺癌に対し定位放射線治療を行った患者を対象とする。対象患者のカルテ等を参照しデータを取得して研究を行う。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①定位放射線治療による早期肺癌治療における症候性放射線肺臓炎の危険因子を検討するために電子カルテや治療計画装置からデータを取得し、匿名化した上で統計解析を行う。 ②臨床所見(年齢、性別、肺癌の腫瘍径、病理組織診断など)、定位放射線治療に関する情報(照射のターゲットの体積、線量分割、肺に照射された線量のデータなど)、治療による有害事象(症候性放射線肺臓炎の有無)など ③研究責任者のみが使用する ④篠村 一磨
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 放射線科 篠村 一磨  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525